

文化・芸術



「屋根上の母子」

1914年、エッチング、紙
10・6センチ×14・8センチ

ジョン・スローン（1871～1951年）

第一次大戦後の米国では、都市や農村部、風俗などアメリカの主題を写実的に描くアメリカン・シーンの画家たちが活躍しました。

ジョン・スローンはペンシルベニア州に生まれ、独学で銅版画を始めます。1904年、ニューヨークへ移り、新聞や本の挿絵の仕事を手掛けつつ、都市の生活風景を描いたエッチングのシリーズを発表。都市の人々の姿を、

息づかいを感じるほど鋭く描き出しました。アカデミズムに反対しロバート・ヘンライ

らとともにグループ、

（大谷）

大川美術館コレクションから

〈名画の扉〉